

「佐賀県遺産」とは…

佐賀県内の“景観が美しい地区”や“地域を象徴する建造物”です。

自治体等からの申請に基づき、有識者等からなる佐賀県美しい景観づくり審議会の審議を経て、

佐賀県知事が「佐賀県遺産」に認定することにより誕生します。

「佐賀県遺産」には、まつわる物語があり、次の世代、22世紀まで残していきたいという県民の思いが詰まった、

佐賀県の宝物です。



【佐賀県遺産の対象】

◎地区……………

自然と人間がつくりあげたものが調和し、歴史や風土など県ならではの個性と魅力を感じさせる一団の地区。自然景観、歴史景観、農山漁村景観、産業景観、眺望景観が美しい地区。

(例：歴史的まちなみの地区、古い歴史の棚田の地区、
○○海や○○山脈の美しい眺めが望める地区〈一帯〉等)

◎建造物……………

文化的に高い価値を有する建造物又は、景観上重要な建造物。

(例：民家や学校跡などの建築物、石橋やトンネル等の土木構造物、煙突や塚等の工作物等)

※地区や建造物の保存（保全）又は活用に取り組みされていることが必要です。



唐津・伊万里地区

① 浜野浦の棚田

【東松浦郡玄海町浜野浦】

唐津市街より車で30分
駐車場あり
TEL 0955-52-2199(玄海町産業振興課)

浜野浦の棚田は、浜野浦の入江に流れ込む浜野浦川によって形成された浸食谷に、283枚の田が連なったもので、戦国時代から江戸時代にかけて山を切り開き、石を積み上げ築かれた。

棚田の石垣は、加工を施さない自然石を使った“野面(のづら)積み”が一部残り、名護屋城の石垣“穴太(あいう)積み”の特徴が見受けられる。

海岸から駆け上がる階段のように連なる棚田は、四季折々の姿をみせ、特に、水を張る田植え期には、水平線に沈む夕日を鏡のように海面と水田に映し出し、地域一帯を朱色に染める風景は幻想的で訪れる人の目を楽しませてくれる。



③ 旧中尾家住宅

【唐津市呼子町3750-3】

鯨組主中尾家屋敷

唐津市街より車で30分
TEL 0955-82-0309
水曜休館 入館料200円

中尾家は八代に渡り捕鯨業を営み、当時、「中尾様には及びもないがせめてなりたや殿様に」の俗諺になるほど、唐津藩の財政に大きな影響力を与えたと言われる。旧中尾家住宅は、天保11年(1840)刊行の「小川島鯨鯨合戦」に鳥瞰図として収められており、鯨組主屋敷の中核部を再現できる、全国的にも貴重な町屋建築遺構である。



② 旧唐津銀行本店

【唐津市本町1513-15】

唐津駅より徒歩5分
入館料無料 駐車場あり
TEL 0955-70-1717
休館日12月29日～12月31日



煉瓦造りの本建物は、唐津に空前の繁栄をもたらした石炭産業を支えながら発展した唐津銀行の本店として、明治45年(1912)に建設され、平成9年に唐津市に寄贈されるまで、金融機関の建物として利用され続けてきた。外壁に用いられた化粧タイルと白御影石とのコントラストが特徴的な外観は、「辰野式」の影響が色濃く現れ、唐津の近代化を象徴する建物である。

④ 旧犬塚家住宅

【伊万里市伊万里町甲555-1】

伊万里市陶器商家資料館

伊万里駅より徒歩10分
浜町交差点北(佐賀銀行横)より西へ入る
TEL 0955-22-7934 月曜休館 入館料無料

伊万里津の繁栄は、有田皿山などの焼き物産地から運ばれた陶磁器の積み出しを一手に引き受けたことでもたらされ、国の内外に「伊万里焼(古伊万里)」の名が広まった。犬塚家は、創業が明和元年(1764)頃と伝えられ、伊万里津屈指の陶器商として(マルコマ)の商号で大阪や江戸へ陶磁器を積み出していた。土蔵造りの町家の多くが失われた現在では、伊万里津の繁栄を物語る貴重な建物である。



⑥ 秘窯の里 大川内山

【伊万里市大川内町大川内山】

伊万里駅より車で10分

大川内山には1660年代頃に鍋島藩の御用窯が築かれた。そこで作られた「鍋島」は日本の磁器の中で最も格調高く優れたものであった。「鍋島」は販売目的ではなく将軍家への献上品や、諸大名への贈答品とするためのものであったため、地区内に役所や番所を設け厳しく管理していた。その伝統や技法は現在でも守り受け継がれており、およそ30の窯元が軒を連ねている。

狭い谷間に煉瓦造りの煙突や窯元が立ち並び、その後背に青螺山がそびえる風景はさながら山水画のようであり、「秘窯の里」としての雰囲気醸し出している。



⑤ 前田家住宅

【伊万里市立花町4028】

伊万里駅より徒歩15分、東新町交差点より南へ入る
外観のみ見学可

肥前佐留志の豪族、前田美濃の子、新右衛門の嫡子の作右衛門が伊万里郷の町裏に居を構えて大庄屋を命ぜられたのは、元和年中(1615～1624)から寛永19年(1642)までの間という。前田家はその後代々、伊万里郷の大庄屋を務めてきた。主屋は木造平屋建て、民家建築では県内最大規模である。また、屋根は茅葺で、佐賀県の民家の特徴づける「くど造り」の最も発達した姿を伝えている。